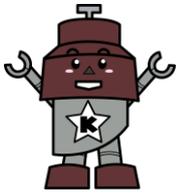


 <p>市長 奥ノ木信夫</p>  <p>川口市 市章</p>	<p>埼玉県</p> <p>かわぐちし</p> <h1>川口市</h1> <p>きらり川口 ゆめわ〜く</p>  <p>シンボルマーク</p>	<p>【データ】</p> <p>平成28年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口：593,485人</li> <li>世帯数：272,472世帯</li> <li>面積：61.95k㎡</li> <li>市の花：鉄砲ユリ</li> <li>市の木：サザンカ</li> <li>特産物：鋳物、植木、釣竿</li> <li>主な祭：たたら祭り(8月) 日光御成道まつり(11月)</li> </ul> <p>【健康都市連合日本支部担当課】</p> <p>健康増進部 保健衛生課</p> <p>電話 048-280-1111(内)2686</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●ものづくりのまち 川口



川口市マスコット  
「きゅぼらん」

当市は、埼玉県の南端に位置する県内有数の都市です。荒川を隔てて東京都に接し、江戸時代から鋳物や植木などの産業が発展。その後、住宅都市化が進みました。平成23年10月11日、鳩ヶ谷市と合併し、現在は人口約59万人となり、首都東京と隣接しているという利便性を活かしながら、固有の伝統ある“ものづくりのまち”として、活力あるまちづくり・人づくりを目指します。

●「人と しごとが輝く しなやかでたくましい都市 川口」

当市を取り巻く社会経済情勢は、昨今の経済状況の変化に加え、少子高齢化の更なる進展や東日本大震災の経験を教訓とした防災・エネルギー問題に対する意識の変化など大きく変化しております。そうした中、平成23年の鳩ヶ谷市との合併を経て、新川口市は、事務権限の拡大による更なる市民サービスの向上を期すため、平成30年度の中核市への移行に向けて準備を進めています。平成28年4月に策定いたしました第5次川口総合計画では、まちづくりの根幹となる考え方として、自治基本条例の趣旨を尊重しつつ、「市民とつくるまちづくり」「多様な主体の共存共栄」「多様な市民ニーズに的確に対応する市民福祉の充実」の3つの基本理念を掲げるとともに、「人と産業が元気なまち」の実現への思いをこめ、将来都市像を「人と しごとが輝く しなやかでたくましい都市 川口」といたしました。この第5次総合計画に基づき、将来にわたり「住みたいまち」「住んでよかったまち」「住み続けたいまち」となるような魅力的で元気な街づくりを目指しています。

●川口の魅力を一言で紹介するキーワード「あ・い・う・え・おのまち 川口」



あ 荒川・芝川：川のまち 江戸の昔から鋳物などの工業を育み舟で物流を発展させた恵みの川。今は潤いと憩いの場に。



い 鋳物が代表：産業のまち 日本の産業を支える鋳物・機械・木型や織物・釣竿・味噌醸造など。ものづくりの魂が息づきます。



う 植木・花卉：緑のまち 世界が認めた「安行植木」、華道を彩る「赤山枝物」や切花、「ぼうふう」などの特産農産物も。



え 映像：Dシネマのまち 21世紀の花形産業「映像」。国際デジタルシネマ映画祭は東京国際映画祭と肩を並べる世界規模。



お 御成道：将軍社参のまち 川口宿、鳩ヶ谷宿。将軍専用道の宿場町として発展した川口には、いまでも江戸の歴史が香ります。

### ●健康・生きがいつくりの推進

本格的な少子・高齢化社会を健康で活力あるものとしていくためには、市民一人ひとりが、健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという意識と自覚をもつことが重要です。そこで、平成13年度において「健康日本21」で提案されている「自分の健康は自分でつくる」という理念と、「第3次川口市総合計画」で方向づけられていた「健康な暮らしづくり」という理念とを考慮し、「健康で生きがいをもって暮らすことができる都市・川口」を基本理念とした「川口市健康・生きがいつくり計画」を策定しました。

この基本理念が目指す姿は、市民一人ひとりが健康で生きがいを持つことを、当市の健康・生きがいつくりを推進するうえで最大かつ恒久的なものと考え、平成25年度に策定した「川口市健康・生きがいつくり計画（第二次）」においても継続しております。

また、この基本理念を実現するため、「健康日本21（第二次）」で提唱されている基本目標を考慮するとともに、生活にハリを与え、より良い人生を送るために重要な要素となる「いきがい」を合わせた4つの基本目標を掲げ、目標を達成するための取組を推進します。

#### 4つの基本目標

- ・健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- ・生活習慣病の発症予防と重症化予防
- ・健康を支え守るための社会環境の充実
- ・生きがいつくりの推進

### ●健康・生きがいつくり通信

市民の皆さまの健康に関する意識や関心をより一層高め、健康に暮らすことができるように、年1回「健康・生きがいつくり通信」を発行しています。

- ・平成27年度（第12号）

【今から始める運動習慣 病気の予防と寝たきり予防～気づいたときが始めどき～】

- ・平成28年度（第13号）※予定

【糖尿病を知って、伸ばそう健康寿命！～今日から始められる糖尿病予防～】

### ●川口健康フェスティバル

市民一人ひとりが健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという意識と自覚を持っていただくため、市民主役の健康づくりを実現することを目的に、健康増進普及月間である9月に開催し、各種表彰、健康講演、アトラクション、健康体験コーナー等を行っています。